

令和6年度(2024年度)

# 病害虫発生予察情報 第22号

## 9月月報

北海道病害虫防除所 令和6年(2024年)10月17日

<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshou/>

Tel:0123(89)2080・Fax:0123(89)2082

### I. 気象概況 札幌管区气象台発表 北海道地方気象速報

—高気圧に覆われやすく記録的な多照。太平洋側では記録的な少雨。—

9月は、高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、日照時間はかなり多かった。北海道地方と日本海側の日照時間の平年比は1946年の統計開始以降、それぞれ多い方から第1位と第2位の記録となった。また、低気圧や前線の影響を受けにくかったため、降水量はかなり少なく、特に太平洋側の降水量の平年比は1946年の統計開始以降、少ない方から第2位の記録となった。暖かい空気に覆われやすく、日照時間も多かったため、日本海側とオホーツク海側の気温は高く、太平洋側ではそれらに加えて海面水温が高いこともあり、気温はかなり高かった。このため、北海道地方でもかなり高かった。

上旬：高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、日照時間はかなり多く、北海道地方の旬日照時間の平年比は1946年の統計開始以降、多い方から第1位の記録となった。また、降水量は太平洋側でかなり少なく、北海道地方及び日本海側とオホーツク海側で少なかった。気温は、晴れた日が多く、暖かい空気に覆われやすかったため、太平洋側でかなり高く、北海道地方及び日本海側とオホーツク海側で高かった。

中旬：太平洋側では、低気圧や前線の影響を受けにくかったため、降水量は少なかった。気温は、暖かい空気に覆われやすかったため太平洋側でかなり高く、北海道地方及び日本海側とオホーツク海側で高かった。

下旬：高気圧に覆われやすく日本海側を中心に晴れた日が多かった。このため、降水量は北海道地方と日本海側でかなり少なく、オホーツク海側、太平洋側では少なかった。また、日照時間は日本海側でかなり多くオホーツク海側でも多かったが、気圧の谷や湿った空気の影響を受けやすかった太平洋側では少なかった。気温は、21日から24日にかけて寒気の影響を受けて平年を下回ったが、その後は暖かい空気に覆われて平年を上回り、旬平均気温としては北海道地方、日本海側、太平洋側で高かった。

#### 気候表(気温は平年差(°C)、降水量・日照時間は比(%))を示す

	気温偏差°C	階級	降水比%	階級	日照比%	階級
北海道22 地点平均	+1.3	か高	46	か少	128	か多
日本海側10 地点平均	+1.1	高	58	少	131	か多
オホーツク海側4 地点平均	+1.1	高	42	か少	129	か多
太平洋側8 地点平均	+1.5	か高	32	か少	124	か多

注) 階級分布図の気温・降水量・日照時間は、概ね「高(多)」、「並」、「低(少)」の3段階で表示します。各階級の幅は、平年値の作成期間(1991~2020の30年間)における各階級の出現率が1:1:1となるように決めてあります。なお、平年値作成期間内の上位、下位10%の範囲に入る場合は「か高(多)」、「か低(少)」(か→かなり)で表します。

## II. 病害虫発生概況

注) 本資料における表中の0の表記について

0のみの場合、調査時に発生がなかったことを示す。0.0あるいは0.00などは、四捨五入により数値が表示されていないことを示す。

### A. 水稻

#### 1. いもち病（穂いもち・節いもち） 発生量 多

予察田の「きらら397」における穂いもちの発生量は、比布町では平年より多く、岩見沢市では平年よりやや多かった。節いもちの発生量は、比布町及び北斗市では平年より多く、岩見沢市では平年並であった。

予察田における水稻の穂いもち及び節いもち発生状況(9月2半旬)

地点	品種名	穂いもち		節いもち		平年数
		発病穂率(%)		発病茎率(%)		
		本年	平年	本年	平年	
岩見沢市	きらら397	41.1	34.4	10.9	13.1	10
	ななつぼし	74.8	41.8	30.9	23.1	10
比布町	きらら397	100	53.4	45.4	15.4	10
	ななつぼし	100	50.8	67.5	17.9	8
北斗市	きらら397	-	53.6	48.8	13.8	10

注1) 各予察田の窒素施用量は慣行栽培の5割増

注2) - :成熟期に達したため調査不能

#### 2. 紋枯病 発生量 並

予察田における発生量は、岩見沢市では平年よりやや多く、北斗市では平年よりやや少なかった。

予察田における水稻の紋枯病発生状況

地点	品種名	発病茎率(%)				平年数
		9月2半旬		9月4半旬		
		本年	平年	本年	平年	
岩見沢市	きらら397	37.9	18.4	38.7	21.4	10
北斗市	きらら397	17.6	27.7	-	20.7	10

注1) 各予察田の窒素施用量は慣行栽培の5割増

注2) - :節いもちが多発したため調査不能

#### 3. ニカメイガ 発生量 多

長沼町の予察田における被害茎率は、平年より高かった。

予察田におけるニカメイガによる被害茎率(%)

長沼町		平年数
本年	平年	
10.4	5.0	

#### 4. アカヒゲホソミドリカスミカメ 発生量 やや少 <7月23日付け注意報第7号>

予察田による成虫誘殺数は、長沼町及び北斗市で平年並、比布町で平年より少なかった。

予察田における成虫のすくい取り虫数は、長沼町で平年並、比布町では平年よりやや少なかった。北斗市では捕獲されなかった。

アカヒゲホソミドリカスミカメ成虫の予察灯による誘殺数および予察田における水田すくい取り虫数

月・半旬	予察灯誘殺数						水田すくい取り虫数 (20回振り×5日分換算値)					
	長沼町		比布町		北斗市		長沼町		比布町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
9月1半旬	57	22.5	13	12.0	43	51.9	0	4.5	0	3.3	0	3.0
2半旬	37	46.6	2	35.4	43	36.8	0	1.4	2.5	1.9	0	4.0
3半旬	21	19.7	1	6.0	5	7.7	2.5	0.1	0	2.8	0	3.8
4半旬	24	13.0	0	27.1	0	4.8	2.5	0.8	-	3.3	0	1.6
5半旬	0	1.5	0	1.3	0	0.2	-	0	-	1.5	-	0.8
6半旬	-	2.5	0	0	1	0.2	-	0.2	-	0	-	-
平年数	10		10		10		10		10		10	

注)一: 長沼町予察灯は停電のため欠測

注)一: すくい取りは収穫期を迎えたため調査終了

## B. 豆類

### 1. べと病 (大豆) 発生量 少

長沼町の予察ほにおける発生量は、平年より少なかった。

予察ほにおける大豆のべと病発生状況

地点	品種名	発病度				平年数
		9月2半旬		9月4半旬		
		本年	平年	本年	平年	
長沼町	トヨムスメ	1.0	21.2	-	17.6	10

注)一: 黄化・枯葉が進んだため調査不能

## C. てんさい

### 1. 褐斑病 発生量 多

<7月5日付け注意報第4号>

予察ほにおける発生量は、長沼町、芽室町及び訓子府町で平年より多かった。

予察ほにおけるてんさいの褐斑病発生状況

地点	品種名 (褐斑病抵抗性)	発病度						平年数
		9月2半旬		9月4半旬		9月6半旬		
		本年	平年	本年	平年	本年	平年	
長沼町	あまいぶき(“弱”)	90.8	73.4	94.0	85.5	94.0	92.7	10
	ライエン(“やや強”)	82.0	60.0	86.0	72.6	86.4	82.1	9
芽室町	あまいぶき(“弱”)	91.6	73.3	92.4	81.3	92.4	90.0	10
	ライエン(“やや強”)	90.4	56.6	92.0	64.2	92.4	77.0	9
	スタウト(“強”)	88.8	56.9	90.4	65.9	90.8	78.1	10
訓子府町	ライエン(“やや強”)	81.6	55.4	86.4	64.2	95.6	74.4	10

### 2. ヨトウガ (第2回) 発生量 やや多

予察ほにおけるヨトウガ第2回幼虫による食害程度は、長沼町及び芽室町で平年より高く、訓子府町で平年よりやや高かった。

一般ほにおける9月3半旬の巡回調査によると、全75地点のうち、被害株率50%以上となった地点は後志、胆振、オホーツク地方の計4地点であった。

予察ほにおけるヨトウガの食害程度

月・半旬	食害程度					
	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
9月1半旬	87	65.5	67	43.9	35	39.2
2半旬	92	72.0	67	47.3	45	44.3
3半旬	92	77.6	69	48.7	54	49.2
4半旬	91	80.1	72	52.1	62	53.8
5半旬	91	81.8	69	55.0	64	58.3
6半旬	93	84.3	70	56.1	68	61.0
平年数	10		10		10	

巡回調査によるてんさいのヨトウガ被害株率(%)

普及センター	地点数	9月3半旬		普及センター	地点数	9月3半旬			
		本年	前年			本年	前年		
空知	南東部	1	0	18.0	網走	本所	9	25.0	6.0
石狩	本所	3	23.3	60.0	清里	6	17.3	39.0	
後志	本所	3	25.3	15.3	網走	2	11.0	24.0	
胆振	本所	4	1.8	4.0	美幌	5	5.0	10.4	
	東胆振	3	47.3	45.0	遠軽	3	25.3	46.0	
上川	富良野	2	2.0	18.3	十勝	本所	7	7.4	8.3
	大雪	2	1.0	12.0		東部	5	0.8	19.3
	士別	1	9.0	10.0		東北部	4	26.3	61.8
	名寄	1	10.0	26.0		北部	3	13.3	20.0
					西部	3	5.3	1.7	
					南部	8	9.9	42.1	

D. あぶらな科野菜

1. モンシロチョウ 発生量 並

予察ほのキャベツにおける寄生幼虫数は、長沼町及び北斗市で平年並であった。

予察ほのキャベツにおけるモンシロチョウ幼虫の発生状況

月・半旬	長沼町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年
9月1半旬	3	9.0	14	17.3
2半旬	4	6.3	15	14.0
3半旬	1	8.9	17	15.2
4半旬	6	15.6	9	15.6
5半旬	26	17.5	18	15.2
6半旬	31	21.8	27	12.2
平年数	10		10	

注) 10株あたりの寄生虫数。

2. コナガ 発生量 やや少

<7月10日付け注意報第5号>

フェロモントラップによる成虫誘殺数は、芽室町で平年よりやや多く、比布町及び訓子府町で平年並、北斗市で平年よりやや少なく、長沼町では平年より少なかった。

予察ほのキャベツにおける寄生幼虫数は、長沼町で平年並、北斗市では平年より少なかった。

コナガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	長沼町		比布町		北斗市		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
9月1半旬	10	18.0	0	2.9	2	5.1	2	1.0	1	1.3
2半旬	7	22.5	2	1.1	5	4.5	1	0.1	0	0.5
3半旬	11	13.1	0	1.4	1	5.5	2	0.2	0	0.6
4半旬	5	9.2	1	1.9	2	5.1	0	0.2	0	0.1
5半旬	7	10.9	6	2.0	3	3.8	0	0.5	0	0.2
6半旬	6	10.4	4	3.8	5	3.3	0	0.3	0	0
平年数	10		9		10		10		10	

注) 設置場所はアブラナ科野菜ほ場近辺。比布町、芽室町はアブラナ科野菜以外のほ場近辺。訓子府町は雑草地。

予察ほのキャベツにおけるコナガ幼虫の発生状況

月・半旬	長沼町		北斗市	
	本年	平年	本年	平年
9月1半旬	2	7.2	1	9.2
2半旬	3	6.9	3	3.4
3半旬	0	11.2	1	2.3
4半旬	6	8.0	6	7.4
5半旬	22	13.5	2	5.8
6半旬	16	12.9	2	5.3
平年数	10		10	

注) 10株あたりの寄生虫数。

## E. りんご

### 1. 黒星病 発生量 やや少

予察園における発生量は、長沼町（無防除）では平年並であった。余市町の予察園（慣行防除）では発生が認められなかった。

巡回調査の報告によると、一般園では発生が認められなかった。

予察園におけるりんごの黒星病発生状況(9月6半旬)

地点	品種名	病葉率(%)		発病度		平年数
		本年	平年	本年	平年	
長沼町	相伝ふじ	100	90.1	49.7	65.6	7
余市町(慣行防除)	昂林	0	-	-	-	-

注1)長沼町は9月6半旬、余市町は9月第5週のデータ

注2) - :調査対象外または平年値なし

一般園におけるりんごの黒星病巡回調査結果(9月3半旬)

普及センター		品種名	地点数	病葉率(%)	
				本年	前年
後志	北後志	ふじ、昂林	2	0	0
胆振	本所	つがる	1	0	1.0
渡島	本所	レッドゴールド	1	0	1.9
留萌	南留萌	つがる	1	0	0

### 2. 斑点落葉病 発生量 やや多

予察園における発生量は、長沼町（無防除）では平年より少なかった。余市町の予察園（慣行防除）では発生が認められなかった。

一般園における巡回調査の報告によると、胆振、渡島及び留萌地方で発生が認められた。

予察園におけるりんごの斑点落葉病発生状況(9月6半旬)

地点	品種名	病葉率(%)		平均病斑数(個/葉)		平年数
		本年	平年	本年	平年	
長沼町	王林(新梢)	0.6	5.9	0.0	0.1	10
	王林(徒長枝)	0.5	4.4	0.0	0.1	10
余市町(慣行防除)	昂林(徒長枝)	0	-	-	-	-

注1)長沼町は9月6半旬、余市町は9月5週目のデータ

注2) - :調査対象外または平年値なし

一般園におけるりんごの斑点落葉病巡回調査結果(9月3半旬)

普及センター		品種名	地点数	病葉率(%)	
				本年	前年
後志	北後志	ふじ、昂林	2	0	0
胆振	本所	つがる	1	28.3	1.0
渡島	本所	レッドゴールド	1	28.4	56.6
留萌	南留萌	つがる	1	2.0	2.0

注)「レッドゴールド」は斑点落葉病に弱いとされるデリシャス系品種

### 3. モモシクイガ 発生量 やや少

予察園におけるフェロモントラップによる誘殺数は、余市町B（慣行防除）で平年並、長沼町（無防除）で平年よりやや少なかった。余市町A（慣行防除）では誘殺は認められなかった。

一般園におけるフェロモントラップによる誘殺数は、岩見沢市で平年よりやや多く、札幌市で平年並、壮瞥町及び七飯町では平年よりやや少なかった。増毛町では誘殺は認められなかった。

予察園におけるモモシクイガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	フェロモントラップ誘殺数					
	長沼町		余市町A		余市町B	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
9月1半旬	42.2	41.6	0	13.9	15.5	24.8
2半旬	11.3	31.9	0	6.5	15	15.2
3半旬	0	8.8	0	3.2	9.7	7.5
4半旬	0	0.7	0	1.5	3.3	3.4
5半旬	0	0.3	0	1.2	0	0.4
6半旬	0	0	0	0.7	0	0.1
平年数	10		10		10	

注) 余市町A、Bの予察園は慣行防除。

一般園におけるモモシクイガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	岩見沢市		札幌市		壮瞥町		七飯町		増毛町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
9月1半旬	13.8	3.3	10.2	9.6	5.0	9.6	13.7	14.4	0	0.3
2半旬	9.3	2.6	5.3	4.0	5.6	6.1	4.3	7.2	0	0.2
3半旬	3.5	0.8	0	0.3	1.7	1.7	0	2.7	0	0
4半旬	1	0.6	0	0	0.3	0.7	0	1.3	0	0
5半旬	0	0.2	0	0	0	0.7	0	0.8	0	0
6半旬	0	0	0	0	0	0.5	-	0.1	0	0
平年数	10		10		10		10		10	

注)-は欠測

### 4. ハダニ類 発生量 少

予察園におけるリンゴハダニ及びナミハダニは、長沼町（無防除）、余市町A及びB（慣行防除）いずれの地点においても発生が認められなかった。

予察園におけるハダニ類成虫の発生状況

月・半旬	リンゴハダニ						ナミハダニ					
	長沼町		余市町A		余市町B		長沼町		余市町A		余市町B	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
9月1半旬	0	0	0	0.4	0	0	0	2.3	0	0.8	0	0.2
2半旬	0	0	-	0	-	0	0	1.3	-	0.9	-	14.4
3半旬	0	0	0	0	0	0	0	1.0	0	0.3	0	1.1
4半旬	0	0	0	0	0	0	0	2.3	0	0.1	0	1.4
5半旬	0	0	0	0.2	0	0	0	2.0	0	1.4	0	0.4
6半旬	0	0	-	0	-	0	0	0.3	-	0	-	0.0
平年数	10		10		10		10		10		10	

注) 30葉あたりの寄生数。

注) 余市町A、Bの予察園は慣行防除。

## 5. キンモンホソガ 発生量 やや少

予察園におけるフェロモントラップによる成虫誘殺数は、余市町A（慣行防除）で平年よりやや少なく、長沼町（無防除）及び余市町B（慣行防除）では平年より少なかった。長沼町の予察園における被害葉率は平年より高かった。

一般園におけるフェロモントラップ誘殺数は、岩見沢市で平年より多く、七飯町で平年よりやや多く、札幌市で平年よりやや少なく、石狩市、壮瞥町及び増毛町では平年より少なかった。

予察園におけるキンモンホソガの被害葉率およびフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	フェロモントラップ誘殺数						被害葉率(%)	
	長沼町		余市町A		余市町B		長沼町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
9月1半旬	1.0	53.9	54.3	83.2	13.3	67.7	24.8	15.2
2半旬	1.0	67.7	69.4	100.2	13.1	74.2	23.8	15.8
3半旬	3.0	44.1	70.5	95.8	4.6	78.3	37.5	17.1
4半旬	0	12.2	48.5	60.6	3.6	56.3	37.5	22.4
5半旬	0	4.7	29.9	35.4	3.4	31.7	41	25.7
6半旬	0	1.3	15.0	12.5	0	12.4	60.3	38.7
平年数	10		10		10		10	

注) 余市町A、Bの予察園は慣行防除。

一般園におけるキンモンホソガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	岩見沢市		札幌市		石狩市		壮瞥町		七飯町		増毛町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
9月1半旬	9.8	2.7	0	3.6	1.9	37.0	0	51	7.7	1.3	116.8	297
2半旬	6.3	3.1	0.1	1.8	13	95.5	0	92	4.3	1.5	113.5	401
3半旬	11.5	4.4	0.6	1.3	28.8	65.7	0.8	78	3.6	2.1	52.5	355
4半旬	11.9	1.6	0.3	0.4	9.6	79.1	0.2	55	1.4	1.5	31.1	286
5半旬	7.1	0.4	0.2	0.1	0	33.9	0	20	0	0.8	19.8	139
6半旬	0	0	0.8	0.1	0	13.9	0	7	-	0.6	8.7	74
平年数	10		10		10		10		10		10	

注)-は欠測

## 農薬の適切な保管管理と空容器等の適正な処分に努めましょう!!

### ■ 農薬の保管管理等に当たって

農作業も終盤となり農薬を使用する機会も少なくなってきましたが、使い残した農薬は適切に保管管理するとともに、空容器等は適正に処分するようにしてください。

- 1 農薬は乾燥した冷暗所に保管箱又は保管庫を設置し、施錠して保管してください。
- 2 農薬の誤用を防止するため、種類別に分類整理して保管してください。特に除草剤は、誤って使用すると薬害等の被害を招く恐れがあるので、他の農薬と明確に区分してください。
- 3 毒物又は劇物に該当する農薬は、毒物及び劇物取締法により容器や包装、保管場所への表示等が定められていますので、これを遵守してください。  
また、消防法に基づく危険物に該当する農薬は、貯蔵及び取扱いの基準が定められているので、これを守ってください。
- 4 誤飲等を防ぐため、農薬は他の容器への移し替えや小分け、特に食品容器への移し替えは行わないようにしてください。
- 5 使用済みの農薬の空容器は、他の用途には絶対に使わないでください。  
また、農薬の空容器及び残農薬の処分に当たっては、関係法令に基づき適正な処分に努めてください。  
なお、農薬の空容器の処分に当たっては、容器内に農薬が残らないよう十分に除去してください。

---

農薬に関してのお問い合わせは

道庁農政部生産振興局技術普及課（TEL:011-231-4111(内線)27-838)

北海道病虫害防除所（TEL:0123-89-2080）

または最寄りの（総合）振興局農務課にご照会ください。

登録情報や農薬取締法等については

農林水産省ホームページの「農薬コーナー」（<http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/>）をご覧ください。